



発行所(〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社
 電話 市外局番(027)
 (編集) 254-9933 (広告) 254-9944
 (販売) 254-3131 (印刷) 254-9955
 (印刷) 254-9985 (出版) 254-9966
 (印刷) 254-9981 (発送) 254-9984
 (総務) 254-9977 (総機) 254-9911
 ©上毛新聞社 2009年

学部新設で名称変更へ 群馬社会福祉大

群馬社会福祉大を運営する前橋市川曲町の学校法人昌賢学園(鈴木利定理事長)は7日までに、同大に看護学部を新設し、学校の名称を来年度から群馬医療福祉大に変更することを文部科学省に申請した。10月にも認可される見通し。

岡地域で人材を育成するこゝとで、地域医療への貢献を目指す。入学定員は80人を予定している。

学生にチーム医療への理解を促す。

看護学部は藤岡市藤岡の藤岡女子高跡に設置する。医療関係者の少ない多野藤

岡には現在社会福祉学部があり、来年度からは2学部2学科体制になる。社会福祉学部では社会福祉士や保育士などの育成を行ってきたが、看護学部をつくる

医療や福祉を学際的に学べる体制を作ることで、

同学園は今後、作業療法士や理学療法士を養成する同大附属のリハビリ専門学校と大学の統合も視野に、医療と福祉を総合的に学べる大学作りを目指す。同大は「今まで培った福祉教育を基本に、医療でも地域に貢献する人材を養成していきたい」とした。

看護師2万1505人、7%増

20代減少、60歳以上は4割増

介護への需要も要因

08年末の県内

2008年末時点で県内の病院や社会福祉施設などで働いていた看護師は計2万1505人で、06年末比で1401人、7.0%増

えたことが県の調査で分かった。20代は減ったが、30代以上の各年代で増加。特に60歳以上は4割以上増えた。この20年で看護師は倍

増したが、医療の高度化への対応や看護態勢の充実のため看護師の需要は高まっている。人手不足が続いている。

前回の06年調査と比べ、30代は7%増、40、50代が10%増、60歳以上が42%増と年代が上がるほど増加率が高かった。

30代、40代の増加は近年顕著となっている。その理由を県医師会では「看護師は女性が多く、出産や育児を終えて再就職する人が増えている」と説明。今回60歳

以上が急増したのは、団塊世代の有資格者で働き続ける人が多いため、と分析する。県内で勤務する看護師は、1988年は1万1400人だったが、2年間で千500人ずつ増え、06年に2万人を超えた。医療の高度化で分業が進んでいることや、介護現場での需要が増加の理由。06年の診療報酬改定で、看護師を厚く配置した病院を優遇する措置が導入されたことも要因とみられる。

看護師に職場紹介を行う県ナースセンターによると、年間1万人近い求人に対し、職を求めて登録する看護師は700人程度。需要に供給が追いつかない状況で、特に病院や診療所の人手不足が目立つという。

